

令和5（2023）年度 学校と地域の連携推進セミナー④

実施報告

実施日：令和5年11月16日（木）

当セミナーは、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」のそれぞれの視点から、学校と地域が連携・協働した活動に携わる際に必要な知識や技術の習得を目指すことをねらいとしています。

第4回は今まで（第1～3回）の研修内容を踏まえつつ、これからの学校と地域の連携・協働の在り方などについて、今後の受講者のそれぞれの活動につなげていくための知識・技術を得ることを目的として実施し、行政関係者や教職員、地域コーディネーター等24名の方が参加しました。

○ 鼎談「学校と地域の連携・協働で紡ぐとちぎの未来」

文部科学省コミュニティ・スクール推進員 鈴木 廣志 氏
栃木市皆川エリア地域コーディネーター 関口 浩子 氏
栃木県総合教育センター生涯学習部長 井上 昌幸

鼎談（ていだん）とは、リラックスした雰囲気の中で、登壇する3名がテーマに沿って、限られた時間の中で、それぞれの立場から自由に語り合うことです。鈴木氏はコミュニティ・スクールを実践した経験やコミュニティ・スクールを推進する立場から、関口氏は学校と地域の連携・協働を地域コーディネーターとして実践している立場から、井上部長は国の動きも含めた地域学校協働活動への行政支援の視点から、それぞれ話がありました。その中には、これからの学校と地域の連携・協働の在り方などを考える上でのたくさんのヒントがありました。また、学校と地域の連携・協働に対する各登壇者の「マインド」も伝わりました。

その後、受講者同士で鼎談から学んだことや気付いたことなどについて話し合い、理解を深めました。最後に、「わたしの新展開」というテーマで、受講者がこれからの学校と地域の連携・協働を進めるために改めて取り組みたいことをワークシートに書き出し、受講者同士で気持ちを高め合いました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・学校支援ボランティアの方々の学校や児童・生徒に対する思いや考えを理解することができました。
- ・地域に住む若者のチカラを生かした地域づくりの重要性を学びました。
- ・「風土」という概念・考え方がとても新鮮で分かりやすかったです。これからも学校の先生と地域住民が協力した、学校と地域の連携・協働活動を試みたいと思いました。一人で無理することなく、みんなと協力して活動が続けようとも思いました。
- ・足し算とともに引き算も重要であるという言葉に勇気をもらいました。
- ・学校と地域コーディネーターがもっと対話できる場・機会をつくることの大切さを理解しました。早速、そのような場・機会をつくらうと思います。
- ・鼎談は初めての経験でした。多くのことを学び、たくさんのエールをもらえる手法だと感じました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

